

元気いっぱい、夢いっぱい、瞳かがやく“みやぎっ子”

## みやぎの学ぶ土台づくりを御活用ください！

宮城県では、幼児期を生涯にわたる人格形成の基礎を培う時期、すなわち「学ぶ土台づくり」の時期として捉え、家庭や幼稚園・保育所・認定こども園などのいずれにおいても充実した幼児教育が行われ、小学校へ入学する時期までに、子供たちが豊かな心情や学ぼうとする意欲、健全な生活を送る態度などを身に付けることを目指して取り組んでいます。

### 親子でのふれあいのすすめ

#### 優しく見つめておしゃべりしましょう

自分を優しく見つめておしゃべりしてくれる大人に子供は親しみを感じ、安心感をもちます。次第に声や表情での感情表現も豊かになり、積極的に大人との関わりを求めようようになります。このような大人とのやり取りの心地よさが、人に対する信頼感の育ちにつながり、コミュニケーションの土台につながります。

子供とおしゃべりするときは、視線を合わせて優しく語りかけましょう。



宮城県教育委員会ではルルブル（しっかり寝ル・きちんと食ベル・よく遊ブで健やかに伸ビル）の公式Twitterアカウントを開設しています。ルルブルに関することや、子供・親子向けのイベント情報、おすすめの本やレシピなどを発信していますので、ぜひ御覧ください。

### 運動・食事・睡眠のすすめ

#### 食事を楽しみましょう

子供は、ゆったりとした雰囲気の中で食事することで、食べる喜びや楽しさを味わい、進んで食べようとする気持ちが育ちます。また、自分たちで野菜などを育てたり、地域の人々が育ててくれた身近な食べ物に関心をもったりすることを通して、食べ物を大切にする気持ちや作ってくれた人々への感謝の気持ちをもつようになります。

和やかな雰囲気の中で、会話を楽しみながら食事をするようにしましょう。

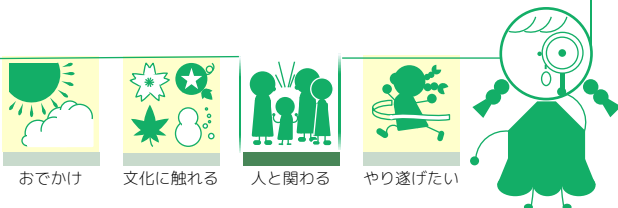


### 心動かされる体験活動のすすめ

#### 人と関わる楽しさを味わえるようにしましょう

子供は、身近な大人との信頼関係を基盤としながら人々と共に活動する楽しさを味わいます。ときには、友達と自己主張がぶつかり合い、楽しく遊ぶためには相手と折り合いを付けることも必要であると気付いていきます。また、地域の人々との交流を通して、身近な人々へ親しみをもったりします。

自分の生活に関係の深い人と触れ合う体験を通して、人と関わる楽しさを味わえるようにしましょう。



この指針は、家庭・地域社会・教育現場・行政における実践的なガイドブックとして活用してもらえるようなものとしています。

宮城県の将来を担う全ての子供たちをみんなではぐくむため、この指針を活用して、それぞれの立場に応じて、できることから少しずつよいので実践してみてください。

### 子供の健やかな成長のために

#### 子供が夢中になって遊べる環境にしましょう

宮城県・宮城県教育委員会では、令和3年3月に宮城県幼児教育推進指針みやぎの学ぶ土台づくりを策定しました。幼児教育ポータルサイトでは、パソコン版とスマートフォン版でこの指針の全文を公開しています。

この指針により「元気いっぱい、夢いっぱい、瞳かがやく“みやぎっ子”」を目指し、みんなで幼児教育に関わる意識をもち、各主体間で連携・協力しながら取り組んでいきましょう。



担当：宮城県教育庁義務教育課幼児教育推進班  
TEL：022-211-3615  
Email：kyoikuy@pref.miyagi.lg.jp  
幼児教育ポータルサイト

<https://www.pref.miyagi.jp/site/youjikyoku-portal-site/>

